

2022年度 ちゅらま〜み(腎)プロジェクト NEWS LETTER



発行元:うるま市・沖縄市 ちゅらま〜み(腎)プロジェクト
(CKD・糖尿病性腎臓病予防におけた病診連携登録医事業)事務局

令和4年5月発行



「第3回上手な医療のかかり方アワード」にて、自治体部門で
厚生労働省医政局長賞 優秀賞を受賞しました!



54'00
頃です

オンライン授賞式
(YouTube)



この度、ちゅらま〜み(腎)プロジェクトが、厚生労働省主催の「第3回上手な医療のかかり方アワード」で、医政局長賞自治体部門で優秀賞を受賞し、3月15日にオンライン授賞式が行われました。これは、保険者、医療機関、企業、各種団体、自治体等において、**医療のかかり方の改善に資する優れた取組の奨励・普及を図る事を目的**としたものです。

この度の受賞につきましては、登録医療機関の医師の先生方や職員の皆様をはじめ、中部地区医師会、協会けんぽなど、関係機関の皆様へこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後とも、本事業へのご尽力賜ります様、宜しくお願い致します。

●病診連携推進・評価委員会 報告

令和4年3月17日(木)オンライン方式(ZOOM)にて、令和3年度 第1回評価委員会を行いました。

主な議題として、今年度の事業実施状況や事業評価等の報告、事業の5年目評価等について、活発な意見交換が行われました。



登録医数(及び医療機関数)、かかりつけ医から腎臓診療医への紹介件数

●登録医の人数及び医療機関数について

内訳	(人)
CKD登録医	36
腎臓診療医	14
計	50

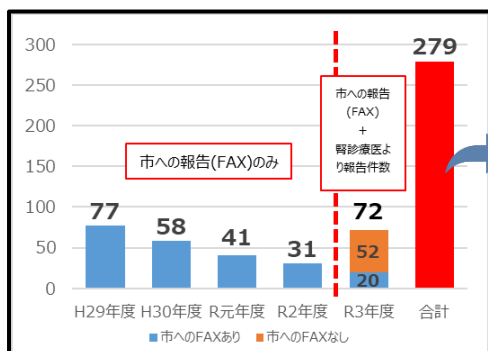


登録医療機関数
32カ所

R3年度のうるま市・沖縄市 CKD・糖尿病性腎臓病 病診連携登録事業について、R3年12月末現在の登録医は **CKD登録医36名**と**腎臓診療医14名**、**合計50名(医療機関32カ所)**の医師の先生方にご登録頂いております。

登録承諾書をまだ出されていない医師の先生がおりましたら、事務局までご連絡下さい。

●紹介件数(R3年12月末現在)



腎臓診療医		計
①	中頭病院	137
②	中部病院	131
③	すながわ内科	6
④	しおひら内科・腎クリニック	3
⑤	安立医院	2
計		279

かかりつけ医から腎臓診療医に紹介した件数は、H29年度からR3年度までに**279**件となっています。従来のFAX連絡票(様式第2号)での報告に加え、R3年度は腎臓診療医の先生方からも定期的な報告を受けており、その件数と合わせるとR3年度の合計は**72**件となりました。今後も紹介件数の把握や、効果的な対象者のフォロー体制について、現場の先生方や医療機関の皆様と引き続き、検討を進めて参ります。

●健診からの受診勧奨件数(H30-R3 途中まで)

うるま市

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度(途中)		
	CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医	
対象者	198	141	57	188	130	58	163	119	44	245	217	28	134	116	18
受診 勧奨者	144	97	47	134	87	47	126	92	34	165	139	26	82	69	13
介入率 %	72.7	68.8	82.5	71.3	66.9	81.0	77.3	77.3	77.3	67.3	64.0	92.9	61.2	59.5	72.2
医療 受診者	94	56	38	96	58	38	62	44	18	90	71	19	38	30	8
受診率 %	65.3	57.7	80.9	71.6	66.7	80.9	49.2	47.8	52.9	54.5	51.1	73.1	46.3	43.5	61.5

沖縄市

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度(途中)		
	CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医	
対象者	162	120	42	339	214	122	250	190	60	259	238	21	90	82	8
受診 勧奨者	114	81	33	208	142	66	134	105	29	227	208	19	66	59	7
介入率 %	70.4	67.5	78.6	61.4	66.4	54.1	53.6	55.3	48.3	87.6	87.4	90.5	73.3	72.0	87.5
医療 受診者	39	26	13	126	78	48	65	48	17	136	123	13	23	19	4
受診率 %	34.2	32.1	39.4	60.6	54.9	72.7	48.5	45.7	58.6	59.9	59.1	68.4	34.8	32.2	57.1

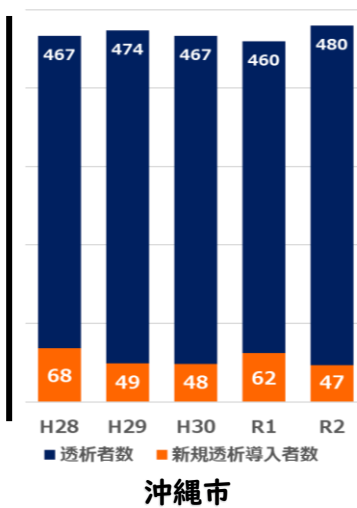
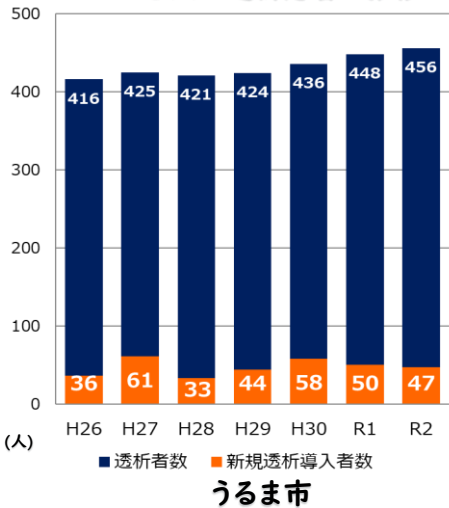
R2年度は、うるま市は介入率 67.3%・精査受診率 54.5%で、沖縄市は介入率 87.6%・精査受診率 59.9%となっています。
両市とも、約4割の精査未受診者へのアプローチが今後の課題です。



人工透析導入者の状況について(うるま市・沖縄市)

データ)更生医療+KDBシステム(国保・後期)

●人工透析患者の推移

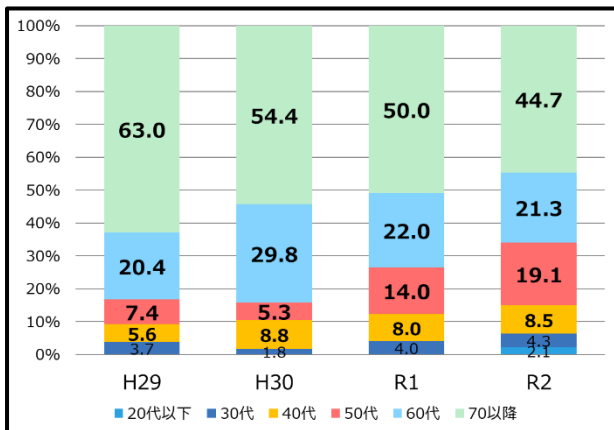


R2年度の人工透析導入者は、うるま市456名(うち新規47名)で、新規は前年度より減少していますが、総数は少し増加しています。

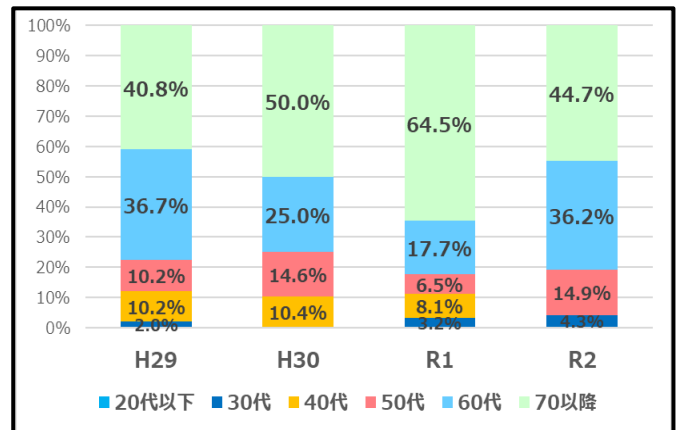
沖縄市は480名(うち新規47名)で、総数は増加していますが、新規は前年度より減少しています。

●新規透析導入者の年代別推移

(うるま市)



(沖縄市)

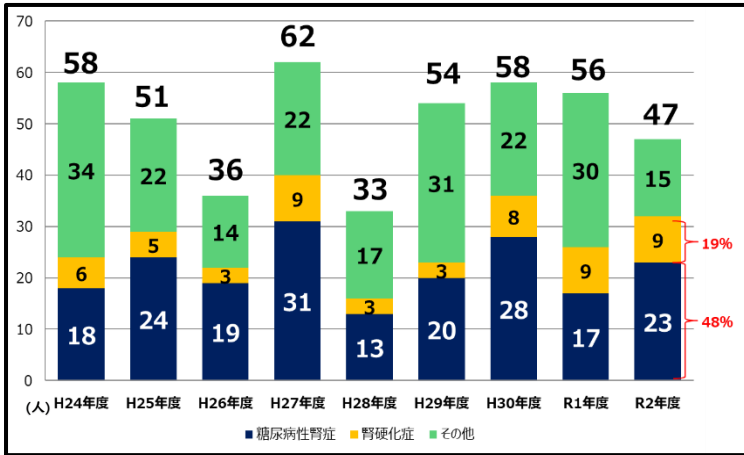


年々新規透析者全体に占める40代、50代の導入割合が増加しています。

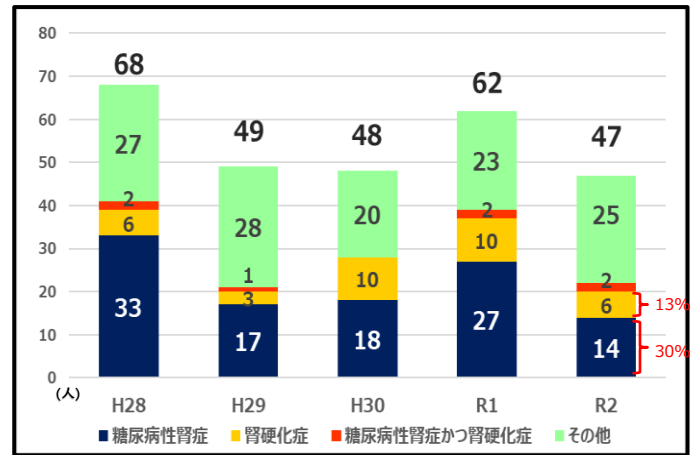
H29-R元年度まで、70代以降が年々増加していましたが、R2年度は60代が2倍以上に増加し、全体の36.2%を占めています。

●新規人工透析導入者のうち、糖尿病性腎症、腎硬化症に占める割合

(うるま市)



(沖縄市)



R元年度 17名(30.4%) → R2年度 23名(48.9%)と、糖尿病性腎症の占める割合が約半数に増加しています。

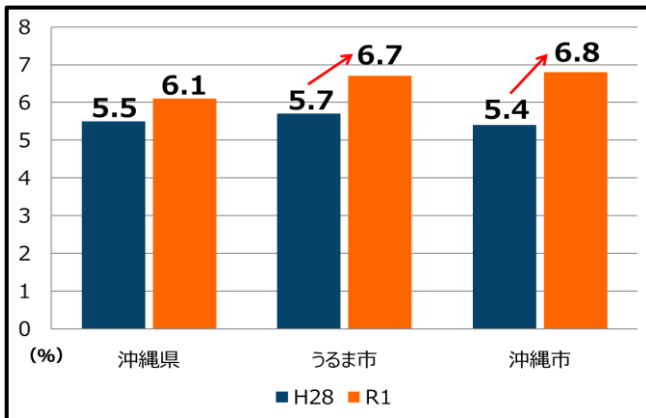
R2年度の糖尿病性腎症、腎硬化症の割合はどちらも減少していますが、「その他」に糖尿病や高血圧と診断されている人も多い状況です。



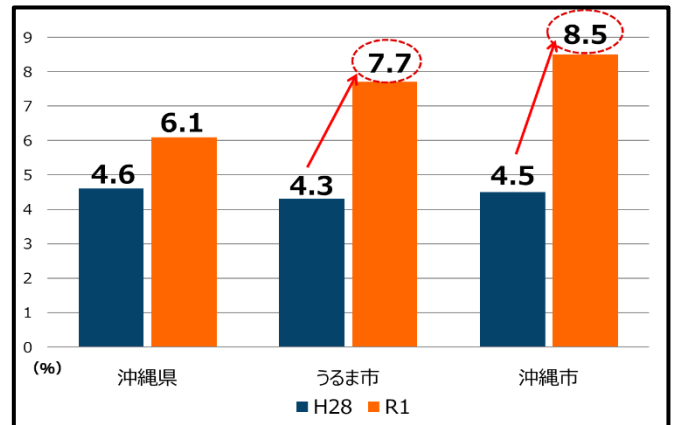
④ 特定健診(40-74歳)からみる糖尿病と高血圧の状況(H28-R1比較)

データ データヘルス計画(中間評価)より

●糖尿病(HbA1c7.0以上)の割合



●高血圧(Ⅱ度以上)の割合



糖尿病(HbA1c7.0以上)と高血圧(Ⅱ度以上)の有所見者の割合の変化を見ると、R元年度は両市ともに沖縄県より割合が高くなっています。

特に高血圧はうるま市、沖縄市ともにH28年度と比べて2倍近く高くなっていることから、喫緊の健康課題となっています。



令和3年度事業報告(R3.12月~R4.3月)

昨年度同様に徹底した感染症対策とオンライン(ZOOM、YouTube)を活用し、以下の事業について実施致しました。



登録医会議
(症例検討会)
ZOOM 開催



すながわ内科クリニック院長の砂川博司先生が座長を務め、中頭病院腎臓内科 與那嶺 怜奈先生と、県立中部病院腎臓内科 筧 直之先生より、症例報告がありました。與那嶺先生からは『糖尿病性腎症・肥満関連腎症合併』と『多発性骨髄症(IgA-λ型)』、筧先生からは『ホスホレノール(リン吸着薬)による直腸閉塞』と『薬剤性急性腎障害・高カルシウム血症・高マグネシウム血症』をテーマにご報告頂きました。

基幹病院での院内連携や、薬剤使用のタイミング等について、質疑応答の中で活発な意見交換が行われました。



コメディカル情報交換会
(YouTube 配信/Startup Lab Lagoon KOZA)



←アーカイブ(ノイズ修正版)
(7月31日まで公開)



『生活習慣病の患者さんへ^{みみぐま}耳薬なお話 ～地域の薬局から～』をテーマに中部地区薬剤師会の阿嘉秀寅先生にオンライン(YouTube)でご講演頂きました。CKD の主な原因となる糖尿病の薬の種類や副作用等の注意点について、分かりやすくご講演頂きました。窓口での患者さんへのアドバイス等について、オンラインでの質疑応答もあり、参加者の関心の高さが伺えました。

後半は、沖縄市の看護師と管理栄養士による症例報告(推定一日塩分摂取量検査を活用した保健指導)を行いました。

市民向け情報発信について

新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、昨年同様に減塩教室等の事業中止、時期によって家庭訪問の制限等もありました。その様な中で、市民への健康情報発信の工夫を凝らして、レシピ検索サイト「cookpad」で減塩レシピの紹介や、世界腎臓デーにうるま市は市役所ロビーに、沖縄市は市立図書館に展示コーナーを設け、重症化予防の啓発活動を行いました。

うるま市



23 | レシピ掲載
(R4.2月時点)



レシピ集
「健康&美腎レシピ」発行

沖縄市



272 | レシピ掲載
(R4.1月時点)



市内農家コラボ
「低カリウムレタス」
レシピ紹介



ちゅらまーみ事務局よりお知らせです。



1. R4 年度予定

- 7/22(金) 第1回コメディカル情報交換会
- 8月 四者報告会、登録医会議、第1回病診連携推進評価委員会
- 10月 基幹病院との情報交換会
- 12月 登録医会議(症例検討会)
- R4.2月 第2回病診連携推進評価委員会

2. 塩分チェックシートの活用について

両市では減塩指導の際に、『塩分チェックシート(沖縄版)]を活用する予定です。患者さんへの減塩指導に是非ご活用ください。詳細については、右記の事務局までお問い合わせください。

その他、ご意見・ご要望等ありましたら、お気軽にご連絡下さい。

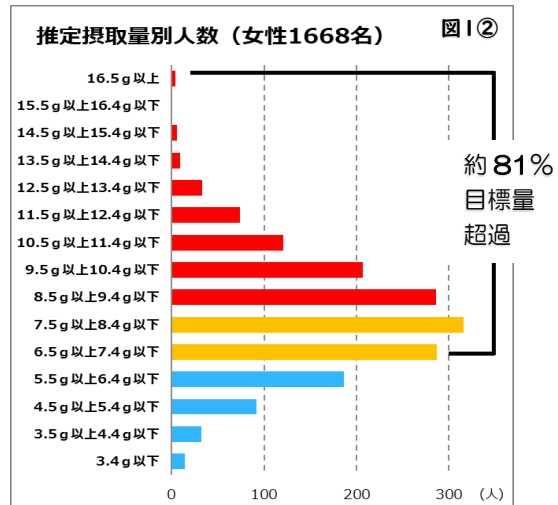
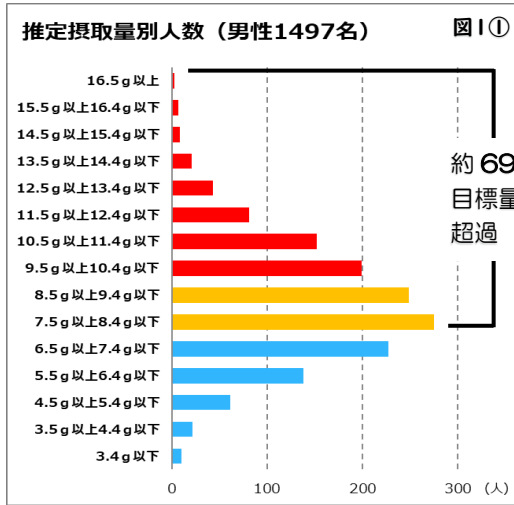
●うるま市役所健康支援課
☎(098)973-3209
✉kenkou-sienka@city.uruma.lg.jp

●沖縄市役所市民健康課
☎(098)939-1212(内 2247)
✉a47hosido@city.okinawa.lg.jp

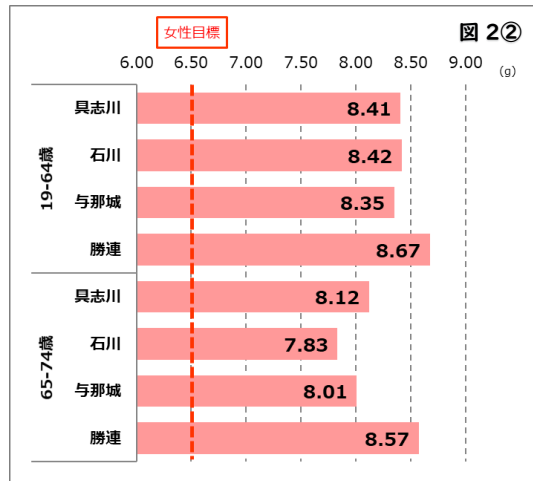
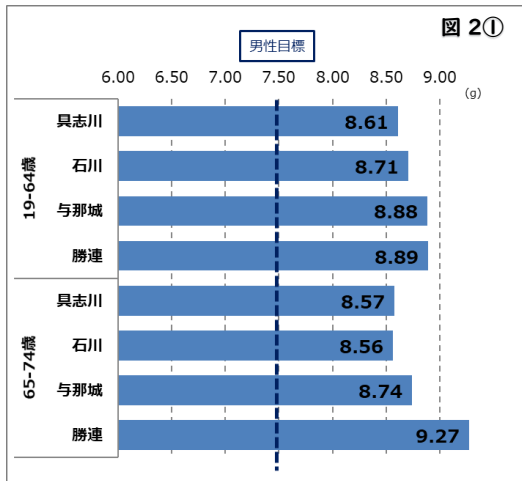


推定一日塩分摂取量検査について【うるま市】

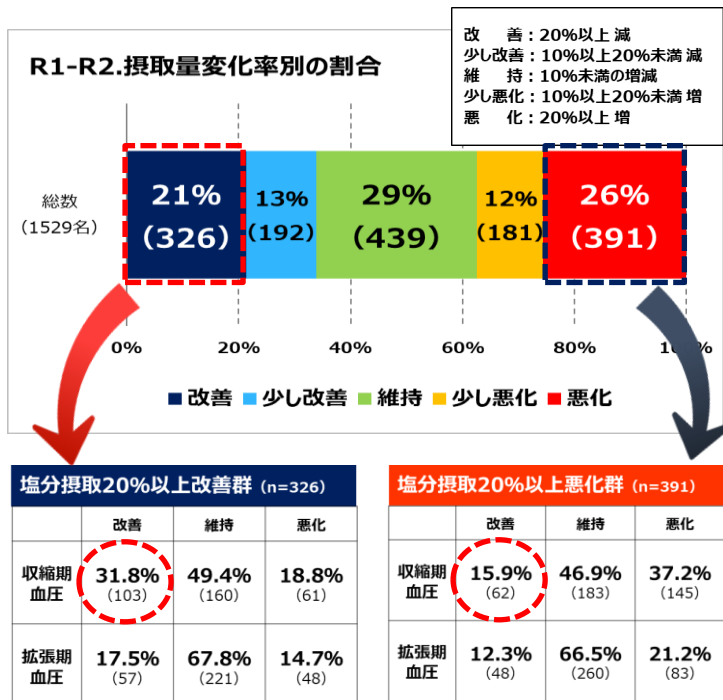
●R2 年度集団健診受診者のうち、3,165 名(男性 1,497 名、女性 1,668 名)に実施。図1①、②



●R2 年度地区別に摂取平均値を比較。図2①、②



●R1-R2 2年連続で塩分摂取量を検査している者について調査。図3



主な傾向

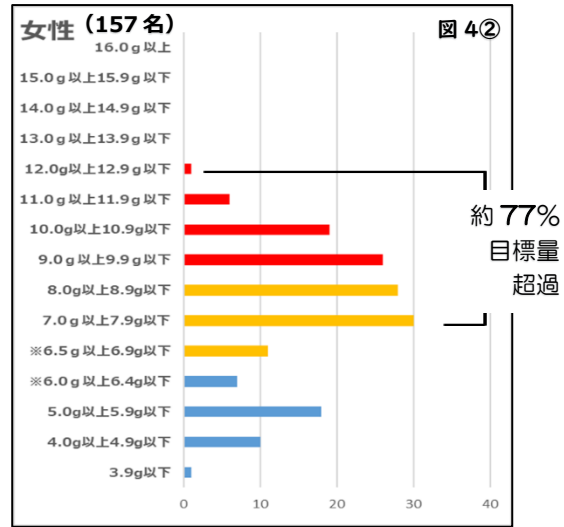
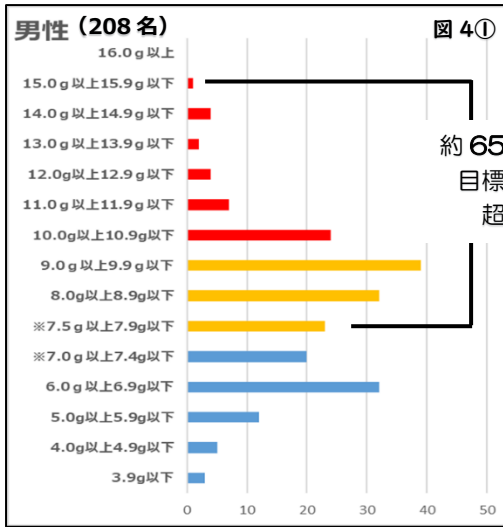
男女別(図1①、②)で、推定塩分摂取量検査を見ると、男性69%、女性81%が目標値を超えていました。

地区別の平均値(図2①、②)では、男女とも全体的に19-64歳の塩分摂取量が多い傾向が見られましたが、男性の65-74歳の勝連地区では9.27gと高い摂取量でした。

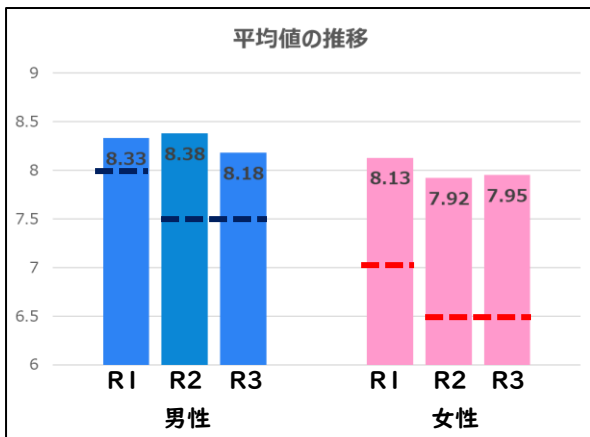
また、R1年度とR2年度の推定塩分摂取量検査がある1,529名(図3)では、塩分摂取が20%以上改善した群326名(21%)では、20%以上悪化した群391名(26%)に比べて、R2年度の血圧の改善率が約2倍高く、悪化率も低くなっていました。

推定一日塩分摂取量検査について【沖縄市】

●R2 年度特定保健指導実施済の者から、検査を希望した 365 名。図4①、②



●R1-R3 年度の推定塩分摂取量(男女別)。図5



主な傾向

男女別(図 4①、②)で、推定塩分摂取量検査を見ると、男性 **65%**、女性 **77%**が目標値を超えていました。R1-R3 年度の比較(図 5)では、男女ともに摂取量の目標値(点線)を上回っています。R1-R2 年度連続で検査受診者の比較(図 6 ①)では、塩分摂取が 20%以上改善した群 13 名(23.6%)が改善した。その中で、大きな変化を示した方の特徴として、男性では(図 6 ②)アルコール摂取が減った事、女性(図 6 ③)は麺類の汁を残すなど食習慣改善による減塩効果が見られました。

●R-R2.塩分摂取量検査比較。図6①、②、③

